

# OPEN SCHOOL 2022

日程 10月29日(土)・30日(日) 会場 高等工科学校  
各日AM・PM入替制



事前申込制

お申し込みは、各都道府県の自衛隊地方協力本部へ

- ▶ 学校長挨拶
- ▶ 学校の概要説明
- ▶ 施設見学
- ▶ 授業見学
- ▶ クラブ見学

他の高校や  
高専には無い

# 高等工科学校の4つの魅力

## ① 自己の可能性と多様性に富んだ将来を見つけ出せる学校

人生で最も多感で本格的に自己を見つめ始めるこの時期に、同期生約350名、在校生を含めると約1000名の仲間と生活を共にし、そして約280名の職員のフォローの下、たくさんの刺激を受け自分の得意分野ややりたいこと、自分の進むべき将来を見出していきます。

高等工科学校を卒業した先には、防衛大学校に行って高級幹部になる道、航空学生となって戦闘機・哨戒機等のパイロットとなる道、部隊勤務を重ねて自衛隊部隊の指揮官やスタッフ、曹のトップである上級曹長になる道、技術を磨いて各装備品整備の専門家(技術陸曹)になる道など多様性に富んだ進路が広がっています。



## ② 社会人として先行き不透明な現代を生き抜く力を養う学校



高等工科学校は陸上自衛隊の高機能化・システム化された装備品の運用や整備を技術面で担う隊員(技術陸曹)を養成することを第一義の目的としています。

このため、生徒は一般の普通科高校と同様の「一般教育」(3学年修了時には提携校である神奈川県立修悠館高等学校の卒業資格を取得)と、装備品の運用や整備に係る技術を身に付けるための「専門教育」を受けます。また、同時に、身の回りのことを全て自分で行うこと、日々の規則正しい生活、仲間との共同作業やクラブ活動などを通じて自律心、コミュニケーション能力、リーダーシップ、チームワーク、思いやり、優先順位の意識等、社会人として生き抜く力を身に付けていきます。

デジタル化が進み、変化が速く先行きの見通しが難しいこれからの時代であるからこそ、上記のような能力は極めて重要なものと考えています。



## ③ 最先端の科学技術につながる教育を受けられる学校

科学技術の発展は日進月歩であり、もちろん防衛(軍事)分野においても例外ではありません。特に、人工知能(AI)技術や極超音速技術などの将来の戦闘様相を一変させてしまうような技術(いわゆるゲーム・チェンジャー)は我が国の防衛力の整備に大きな影響を及ぼします。

このため、技術陸曹を養成する高等工科学校では、最先端の科学技術の動向に適応した特別な教育カリキュラムを設定しています。3年生が履修するコース別教育では、令和3年度からシステム・サイバー専修コースを開設し、令和5年度にはAI・ロボティクス専修コースを開設する予定です。

最先端の科学技術につながる教育を受けられるのは高等工科学校の特に大きな魅力です。



## ④ 生涯の友と呼べる仲間ができる学校

中学を卒業したばかりで、あどけなく、不安を抱きながら全国から集まった生徒たちは、高等工科学校での生活を経て日に日に逞しくなり、3年間で大きな成長を遂げます。その最も大きな要因は、仲間、特に同期生の存在です。

入校したきっかけは違っても、同じ時期に同じ場所(空間)で寝食を共にし、同じ教育や訓練に共に取り組んだ仲間は特別な存在となり、その絆は生涯にわたり続いていきます。

更に卒業後の部隊では、高等工科学校出身という共通点で数多くの先輩・後輩ともつながりを深めていきます。

事実、高等工科学校の卒業生で作る桜友会は、現在会員約2万名で構成され、現役生徒への支援など全国規模で積極的に活動しています。

